

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆいはうす		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができている	事業所内の出来事だけでなく園や学校とも連携を取りながら保護者の方へ情報共有を行っている。	今後も連絡帳や電話、送迎時に情報共有を行いながら、保護者の方の困り感や悩みを聞き、適切な助言や提案を行っていく。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	・毎朝のミーティングで職員の意見交換、情報共有を行い業務改善につなげている。 ・児童の状況や活動内容などその都度メモし、活動記録への漏れがないようにしている。	今後もミーティング内で情報共有を行い、勤務形態の違いや会議等で参加できない職員にも徹底して周知を行う。
3	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている	保護者との面談後、サービス利用計画やえいぶるを基に、児童、保護者両方のニーズや課題を分析したうえで個別支援計画を作成している。	面談内容、サービス利用計画書、えいぶるを職員全体で把握し、話し合いながら作成を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	児童館や地域の公園に行くことはあるが、平日営業のため活動時間に限りがあり長期休み以外は頻回に行うことが出来ない。	今後も長期休みに交流する機会を増やすほか、平日の活動内でも近隣の施設に足を運ぶなど検討していきたい。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか	相談事業所で行われるペアレントトレーニングの情報があった際、提供を行ったことはあったが数少なかった。	相談支援事業所からの情報があった場合だけでなく、職員全体で意識して情報収集を行い、保護者の方へ情報提供を徹底して行っていく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか	平日営業の事業所ということもあり、日程を組むことが難しく機会を設けられていなかった。	保護者のニーズを考慮しながら今後は保護者を招いた活動や交流する機会を設けていきたい。